

陣馬山に登りました（第25回山歩きの会）

コロナ禍前の日常が戻りつつあるGWの5月3日、春が色めきたつこの時期は登山を楽しむ絶好の季節の一つだと言われています。昨年の金時山以来の山歩きです。山頂からの360度見渡せる大パノラマは周囲の山々や市街地など素晴らしい景色を楽しめ首都圏でも人気のスポットの一つです。日頃の運動不足を解消するため「北上ふるさと会第25回山歩きの会」のイベントに参加しました。

JR中央線藤野駅には、山仲間6人が集合しました。早速リーダーの熊谷さんを中心に出発しました。



ルート概要

JR 藤野駅	→ 登山口	→ 一ノ尾根コース	→ 陣馬山頂上	→ 明王峠	→ 与瀬コース	→ 相模原駅
(9:30)			(12:30-13:30)			(16:30)

山頂までの上り

JR 藤野駅から登山口まで県道を道なりに約30分歩きます。陣馬山登山口の石碑を左に見送り車道を山側に進みます。すぐに分岐があり左の一ノ尾根コースの方へ進みます。分岐を進んだらあとはなだらかな道を道なりに登るだけです。登山口から20分ほど、登り車道の舗装が切れたところが一ノ尾根の入り口です。登山



道は時折傾斜のある箇所があるが、全体として上りやすい感があります。ただ山頂が近くなるにつれ少し傾斜がきつくなります。途中視界がひろがり、山頂の茶屋が見えてきます。

陣馬山山頂

登山口から2時間半ほどで山頂に到着です。山頂には白馬の像が出迎えてくれます。自分の足で登った山頂からは雄大な景色が一望でき、感動もひとしおです。山頂からは360度のパノラマが見渡せ、周囲の山々や市街地など素晴らしい景色です。金時山からも見る事が出来ましたが、晴れており富士山の姿を見ることが出来ました。この360度開けた山頂からの景色は「かながわの景勝50選」に数えられているそうです。広い芝生広場ではお昼寝する人や昼食をとる人がいます。山頂名物の白馬のモニュメントは、絶好の撮影スポットになっています。清水茶屋と信玄茶屋そしてトイレも備えられています。晴れた日には素晴らしい

景色がみられ、眺望の良さから何度も登頂を続けている人もいます。この景色は季節や天候によっても異なるため何度訪れても新しい発見があるとのこと。春には桜や新緑、夏には緑豊かな山々、秋には紅葉が美しく。冬には雪景色がみられるそうです。



JR 相模駅を目指して下り

山頂で昼食休憩をとり茶屋で購入したみそ汁を頂き疲れがとれたところで JR 相模湖駅に向けて下山します。下山路は、いくつかの急所があるので、十分な注意が必要です。

明王峠で休憩 あと1時間ほどでゴール。

明王峠に到着したら一度休憩。下り地面は樹木の根が露わなでこぼこした箇所が多いのでつまづかないように気をつけます。中央高速道路が見えたらまもなくゴール相模湖駅です。

陣馬山は、東京都と神奈川県の間境に位置する山。北条氏を攻めた武田氏が陣を張った場所であることから、陣場（馬）山と言われるようになったとされています。都心からのアクセスも良いことから、週末になると多くの登山者が訪れる人気の高い山のように見えます。相模湖駅近くで反省会。話も大いに盛り上がりました。心身ともにリフレッシュすることが出来た1日となりました。また訪れてみたい山の一つになりました。

小平市在住 菊池 潤 記